

## “公德心”について考える ～1年生の道徳では

1年生は、秋には動物園や公園などへ校外学習に出かけることがあり、公共施設の使い方について学習するよい機会になります。1年生の児童は、よいことと悪いことの区別が付き、決められた約束やきまりを守ろうと行動することができています。しかし、夢中になると自分本位になり、周囲の迷惑を考えず行動してしまうことがあります。そこで、今回の授業では『きいろいベンチ』という教材を通して、みんなが気持ちよく過ごすためにはどうしたらよいかを考えました。

雨上がりの公園で、紙飛行機を飛ばして遊んでいた、たかしくんとてつおくんは、近くにあった黄色いベンチに乗って飛ばし始めました。遠くまですうっと、気持ちよく飛んでいくので、夢中になって何度も飛ばしました。しばらくして、2人がブランコに乗って遊んでいると、女の子がやってきて黄色いベンチに腰掛けました。しかし、おばあさんが「こんなにどろだらけのベンチにすわって。スカートがよごれますよ」とスカートの泥を落としているところを2人は見て、「はっ」とし、顔を見合わせました。というお話です。

そこで、「2人がはっとしてどんなことを考えたのか」について話し合いました。「あやまりたい」という意見が出ると、「ベンチに乗って遊ばなければよかった」「みんなが座るところなのに乗ってしまった」などと答えていました。友達との意見交流を通して、みんなでするものを大切にしていきたいという気持ちを高めることができました。

### みんなのいけん

- ★ ごめんね。スカート大丈夫かな。
- ★ ベンチを汚したのは僕たちだから砂を落としに行こう。
- ★ 次からはベンチを汚さないからね。
- ★ 次に座る人が嫌な気持ちになることはしていけなかった。
- ★ 次の人がきれいだと思うように使いたい。



【自分の気持ちをワークシートに書く】



【自分の意見を発表】

【友達の意見を真剣に聞く】